

2024 年眼科グループ

学会発表

1. 大鹿哲郎：
凄いぞ！日本の臨床研究～Contribution to the Advance of Cataract Surgery.
SENJU Live Web セミナー（特別講演）（福山）1月, 2024.
2. 大鹿哲郎：
その白内障の診断，正しいですか？
第 221 回宮城県眼科集談会（特別講演）（仙台）1月, 2024.
3. Hiraoka T, Ninomiya S, Ito T, Kanegae M:
Comparison of Axial Elongation Rates Before, During, and After Orthokeratology.
Global Specialty Lens Symposium. (Las Vegas, Nevada) January, 2024.
4. 佐藤 剛：
White cataract に対する Eight-chop 法の有効性と安全性。
第 47 回日本眼科手術学会学術総会（京都）2月, 2024.
5. 吉永 優，北口善之，小林礼子，大家義則，相馬剛至，高 静花，上野勇太，前原紘基，
大鹿哲郎，西田幸二：
スマートフォン AI アプリによる前眼部疾患診断支援効果の検討。
角膜カンファランス 2024（第 48 回日本角膜学会総会，第 40 回日本角膜移植学会）（東京）
2月, 2024.
6. 平岡玲亜，上野勇太，山藤大輔，中島雅哉，前原紘基，伊藤賀一，大鹿哲郎：
レフラクトメーターMR-6000 で撮影したカラー写真を AI 自動分類する試み。
角膜カンファランス 2024（第 48 回日本角膜学会総会，第 40 回日本角膜移植学会）（東京）
2月, 2024.
7. 不殿大蔵，上野勇太，山藤大輔，中島雅哉，伊藤賀一，大鹿哲郎：
レフラクトメーターMR-6000 角膜撮影アプリの画質向上の試み。
角膜カンファランス 2024（第 48 回日本角膜学会総会，第 40 回日本角膜移植学会）（東京）
2月, 2024.
8. 三島愛理，近間泰一郎，中村祐子，福戸敦彦，木内良明，上野勇太，大鹿哲郎：
翼状片における前眼部カラー写真の輝度変化による角膜 AI での尤度変化。
角膜カンファランス 2024（第 48 回日本角膜学会総会，第 40 回日本角膜移植学会）（東京）
2月, 2024.
9. 中村祐子，近間泰一郎，木内良明，上野勇太，大鹿哲郎：
周辺部角膜疾患における角膜 AI 分類の現状。
角膜カンファランス 2024（第 48 回日本角膜学会総会，第 40 回日本角膜移植学会）（東京）
2月, 2024.
10. 増本裕香，近間泰一郎，中村祐子，三笠香穂里，福戸敦彦，木内良明，上野勇太，
大鹿哲郎：
急性水腫の経時的变化を学習済み角膜 AI モデルに適應する試み。
角膜カンファランス 2024（第 48 回日本角膜学会総会，第 40 回日本角膜移植学会）（東京）
2月, 2024.

11. 佐藤 剛：
Iris hooks を用いた Eight-chop 法の手術成績。
第 55 回筑波大学眼科集談会（つくば）2 月, 2024.
12. 森川翔平, 富岡瑞樹, 岡本芳史, 福田理英子, 岡本史樹, 大鹿哲郎：
水晶体温存硝子体手術前後の水晶体計測。
第 55 回筑波大学眼科集談会（つくば）2 月, 2024.
13. 古山 誠, 伊藤賀一, 上野勇太, 大原睦子, 大鹿哲郎：
OCT データから視野閾値を推測する 3 次元 AI モデル作製における fine-tuning の有用性。
第 55 回筑波大学眼科集談会（つくば）2 月, 2024.
14. 伊藤賀一, 古山 誠, 上野勇太, 大原睦子, 大鹿哲郎：
OCT データから視野閾値推測 3 次元 AI モデルを作製する際の黄斑前膜の影響。
第 55 回筑波大学眼科集談会（つくば）2 月, 2024.
15. 藤井寛紀, 佐伯和子, 星 崇仁, 門屋悠里, 大鹿哲郎, 横溝岳彦：
マウスドライアイモデルの点状表層角膜症の堅牢で客観的な評価方法の開発。
第 55 回筑波大学眼科集談会（つくば）2 月, 2024.
16. 松枝 武, 田崎邦治, 村上智哉, 早川幹人, 大鹿哲郎：
網膜動脈閉塞性疾患の脳卒中科連携診療。
第 55 回筑波大学眼科集談会（つくば）2 月, 2024.
17. Oshika T:
Integrating digital technologies in eye care: Addressing global health challenges. ICO symposium.
Meeting global eye health needs.
The 39th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress in conjunction with the 49th Indonesian
Ophthalmologists Association Annual Meeting (Bali, Indonesia) February, 2024.
18. Oshika T:
Integrating AI into everyday ophthalmology practice. AOI symposium. New principles in education.
The 39th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress in conjunction with the 49th Indonesian
Ophthalmologists Association Annual Meeting (Bali, Indonesia) February, 2024.
19. Morikawa S, Murakami T, Sugiura Y, Okamoto F, Oshika T:
Comparison of stereopsis and foveal microstructure after internal limiting membrane peeling and
inverted internal limiting membrane flap techniques in patients with macular hole.
The 39th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO 2024) (Bali, Indonesia)
February, 2024.
20. Ito Y, Morikawa S, Fudono T, Hiraoka T, Watanabe A, Oshika T:
Ptosis and eye movement disturbance with fungal sinusitis due to Schizophyllum commune: case
report.
The 39th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO 2024) (Bali, Indonesia)
February, 2024.
21. 大鹿哲郎：
その白内障の診断, 正しいですか？
第 33 回下野眼科談話会（特別講演）（宇都宮）3 月, 2024.
22. 大鹿哲郎：
デジタル眼科は何を変える？
第 22 回眼科診療アップデートセミナー京都（京都）3 月, 2024.
23. 大鹿哲郎：
臨床研究のすゝめ ～ 天は臨床医の上に研究者を造らず。
第 16 回昭和大学眼科学術講演会（特別講演）（東京）3 月, 2024.

24. 大鹿哲郎：
臨床研究のすゝめ ～ 天は臨床医の上に研究者を造らず。
首都圏眼科研究会（特別講演）（東京）3月, 2024.
25. 大鹿哲郎：
小児白内障手術の神話と真実。
北海道 IOL 勉強会（特別講演）（札幌）3月, 2024.
26. 長谷川優実：
Vivinex Impress の特徴と視機能。
HOYA 社内勉強会（Web）3月, 2024.
27. 長谷川優実：
角膜移植の実際。
令和5年度第2回臓器提供施設等担当者研修会（つくば）3月, 2024.
28. 菊池啓太, 上野勇太, 森 悠大, 山成正宏, 大鹿哲郎：
OCT への期待：偏光 OCT を用いた隅角解析。
OCT 講習会 2024ーリアルで学ぼう！話そう！OCTー（東京）3月, 2024.
29. Sugiura Y：
Macular retinoschisis with postoperative visual field defect.
Fuji Retina (Tokyo) March, 2024.
30. 平岡孝浩：
眼光学入門 ーワンランクアップの診療を目指して-。
第128回日本眼科学会総会（教育セミナー）（東京）4月, 2024.
31. 平岡孝浩：
合併症と対処法。
第128回日本眼科学会総会（オルソケラトロジー講習会）（東京）4月, 2024.
32. 森田由香：
Sagging eye syndrome の治療。
第128回日本眼科学会総会（東京）4月, 2024.
33. 中野伸一郎：
TECNIS Eyhance® ToricII の実力を評価する。
第128回日本眼科学会総会（ランチョンセミナー）（東京）4月, 2024.
34. 星 崇仁：
涙道再建術を考察する（涙管チューブ挿入術、その他再建術）
第128回日本眼科学会総会（教育セミナー）（東京）4月, 2024.
35. 大鹿哲郎, 鶴木則之, 遠藤高生, 黒坂大次郎, 永本敏之, 仁科幸子, 根岸一乃, 野村耕治,
松木奈央子, 宮城麻衣, 森 隆史, 吉田茂生：
生後6カ月以内に行った先天白内障手術の長期成績。
第128回日本眼科学会総会（東京）4月, 2024.
36. 平岡孝浩, 木内 岳, 高橋洋介, 吉野健一, 田村将人, 久慈 陸, 三野聡大, 森口祥聖,
秋葉正博, 杉浦好美, 三橋俊文, 大鹿哲郎：
広角 SS-OCT を用いた学童の脈絡膜厚分布評価。
第128回日本眼科学会総会（東京）4月, 2024.
37. 前原紘基, 上野勇太, 山口剛史, 北口善之, 宮崎 大, 子島良平, 猪俣武範, 加藤直子,
近間泰一郎, 大湊 絢, 柚木達也, 坪田欣也, 小田昌宏, 石龍鉄樹, 大鹿哲郎：
学習外である角膜移植後の前眼部写真を用いた角膜疾患自動分類 AI モデルの精度検証。
第128回日本眼科学会総会（東京）4月, 2024.

38. 伊藤賀一, 古山 誠, 上野勇太, 大原睦子, 大鹿哲郎 :
緑内障以外の疾患を含む光干渉断層計画像を学習させた視野閾値推測 AI モデルの精度.
第 128 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2024.
39. 古山 誠, 伊藤賀一, 上野勇太, 大原睦子, 大鹿哲郎 :
Fine-tuning 使用 3 次元 AI モデルによる Triton の OCT 画像からの中心 24+10 度緑内障視野推測.
第 128 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2024.
40. 木内 岳, 平岡孝浩, 富岡瑞樹, 平岡玲亜, 大鹿哲郎 :
円錐角膜における角膜離心率.
第 128 回日本眼科学会総会 (東京) 4 月, 2024.
41. 大鹿哲郎 :
臨床研究のすゝめ ~ 天は臨床医の上に研究者を造らず.
順天堂大学講演会 (特別講演) (東京) 4 月, 2024.
42. Kaji Y, Kishino G, Kikuchi S, Oshika T, Kawashima H:
Noninvasive measurement of cerebral blood flow with visual stimulus before and after cataract surgery using optical topography.
American Society of Cataract and Refractive Surgery (ASCRS) Annual Meeting 2024 (Boston, MA, USA) April, 2024.
43. Nakano S, Iida M, Oshika T:
Clinical outcome comparison between enhanced monofocal and conventional monofocal toric intraocular lenses.
American Society of Cataract and Refractive Surgery (ASCRS) Annual Meeting 2024 (Boston, MA, USA) April, 2024.
44. Sato T:
Effects of phacoemulsification using the eight-chop technique on intraocular pressure in patients with diabetes and controls.
American Society of Cataract and Refractive Surgery (ASCRS) Annual Meeting 2024 (Boston, MA, USA) April, 2024.
45. 小林 檀, 杉浦好美, 森川翔平, 富岡瑞樹, 村上智哉, 大鹿哲郎 :
網膜疾患における両眼変視の検討.
Online Joint Seminar (WEB) 5 月, 2024.
46. 平岡孝浩 :
科的観点から考える外あそび推進の重要性と社会や行政への働きかけ.
第 6 回日本近視学会総会 (イブニングセミナー) (東京) 5 月, 2024.
47. 平岡孝浩 :
朝から得する! オルソケラトロジーの最新情報 - 長期データが示す有効性と安全性 -.
第 6 回日本近視学会総会 (モーニングセミナー) (東京) 5 月, 2024.
48. 長谷川優実 :
術後屈折と眼内レンズの選択.
第 6 回日本近視学会総会 (教育セミナー) (東京) 5 月, 2024.
49. 平岡玲亜, 平岡孝浩, 二宮さゆり, 木内 岳, 大鹿哲郎 :
オルソケラトロジー治療開始前, 継続中, 中止後の眼軸長変化の比較.
第 6 回日本近視学会総会 (東京) 5 月, 2024.
50. 安 博遠, 長谷川優実, 岡本史樹, 平岡玲亜, 浅田雪乃, 大鹿哲郎 :
3 焦点眼内レンズを挿入した強度近視眼の視機能.
第 6 回日本近視学会総会 (東京) 5 月, 2024.

51. 大鹿哲郎：
その白内障の診断，正しいですか？
第 60 回関東甲信越眼科学会（特別講演）（つくば）5 月，2024.
52. 平岡孝浩：
すぐに役立つ近視講座 —抑制治療の基礎から実践まで—
第 60 回関東甲信越眼科学会（特別講演）（つくば）5 月，2024.
53. 中野伸一郎：
トーリック眼内レンズ 私の術前・術中・術後の工夫 ～アバンシィ プリロード 1 P トーリックの使用経験も踏まえて～
アバンシィ WEB カンファレンス 5 月，2024.
54. Hiraoka T:
Contact lens is not a piece of plastic: Back to the future.
Myopia Control. Association for Research in Vision and Ophthalmology (Minisymposium) (Seattle, Washington) May, 2024.
55. Tamura M, Hiraoka T, Kiuchi G, Sugiura Y, Takahashi Y, Yoshino K, Kuji R, Mino T, Moriguchi Y, Akiba M, Oshika T:
Posterior eye curvature map in children estimated by widefield OCT.
Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) (Seattle, WA, USA) May, 2024.
56. Hoshi S, Schneider E, Ishigaki A, Ashley G, Oshika T, Santi D:
Intravitreal injection of Dorzolamide-loaded polyethylene glycol microsphere produces sustained lowering of intraocular pressure in rabbits.
Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) (Seattle, WA, USA) May, 2024.
57. Tamura M, Hiraoka T, Kiuchi G, Sugiura Y, Takahashi Y, Yoshino K, Kuji R, Mino T, Moriguchi Y, Akiba M, Oshika T:
Posterior eye curvature map in children estimated by widefield OCT.
Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) (Seattle, WA, USA) May, 2024.
58. Iwasaki A, Kato N, Morita Y, Onouchi H, Itakura M, Kunimi K, Manabe Y:
Investigating Gender Disparities in Ophthalmology Departments at Medical Schools in Japan.
Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) (Seattle, WA, USA) May, 2024.
59. 高橋秀徳：
RVO の投与レジメンを再考する～mTAE という win-win な選択肢～。
RVO 適応拡大記念講演会 in Yakushiji（下野）6 月，2024.
60. 高橋秀徳；
最近の網膜 AI 動向。
第 10 回九州 DME フォーラム（博多）6 月，2024.
61. 高橋秀徳：
糖尿病黄斑浮腫アップデート～明日から役立つ治療のポイント～。
糖尿病黄斑浮腫アップデート（下野）6 月 2024.
62. 森田由香：
弱視早期発見，屈折検査の重要性。
茨城県少子化対策課研修会（つくば）6 月，2024.
63. 杉浦好美：
QOL を考えた RVO 診療。
第 152 回沖縄眼科集談会（沖縄）6 月，2024.
64. 森田由香：
0 歳から 100 歳までの斜視。間欠性外斜視 QOL の観点から。
第 80 回日本弱視斜視学会・第 49 回日本小児眼科学会総会 合同学会（浜松）6 月，2024.

65. 松枝 武, 森田由香, 早川幹人, 大鹿哲郎 :
多数の血管奇形を有し, 静脈コイル塞栓術を実施した頸動脈海綿静脈洞瘻の1例.
第80回日本弱視斜視学会・第49回日本小児眼科学会総会 合同学会 (浜松) 6月, 2024.
66. 山下舞伊子, 森田由香, 浅田雪乃, 大鹿哲郎 :
内視鏡下副鼻腔手術後の内直筋完全断裂に対して修復術を施行した2例.
第80回日本弱視斜視学会・第49回日本小児眼科学会総会 合同学会 (浜松) 6月, 2024.
67. 杉浦好美 :
黄斑上膜, 黄斑円孔.
第23回硝子体手術ビデオセミナー (東京) 6月, 2024.
68. 平岡孝浩 :
世界の最新トレンドを知ろう! “What’s New in 2024” CLと近視進行抑制.
第39回JSCRS学術総会 (インストラクションコース) (福岡) 6月, 2024.
69. 平岡孝浩 :
みんなのJSCRS「これからの老視治療」コンタクトレンズ.
第39回JSCRS学術総会 (シンポジウム) (福岡) 6月, 2024.
70. 佐藤正樹 :
JSCRS Clinical survey 結果を踏まえて日本の白内障、屈折矯正手術のトレンドを発信 (日中韓の白内障屈折矯正手術の現状)
第39回JSCRS学術総会 (シンポジウム) (福岡) 6月, 2024.
71. 高橋秀徳 :
新しい時代の白内障手術 AI.
第39回JSCRS学術総会 (シンポジウム) (福岡) 6月, 2024.
72. 長谷川優実 :
SRK/T式、Barrett UniversalII式の精度と限界.
第39回JSCRS学術総会 (教育セミナー) (福岡) 6月, 2024.
73. 長谷川優実 :
麻酔・切開・縫合.
第39回JSCRS学術総会 (教育セミナー) (福岡) 6月, 2024.
74. 高橋秀徳 :
白内障手術前検査における非侵襲的網膜症検査 AI.
第39回JSCRS学術総会 (福岡) 6月, 2024.
75. 田淵仁志, 佐藤正樹, 神谷和孝, 後藤憲仁, 小島隆司, 初坂奈津子, 鳥居秀成,
永田万由美, 宮田和典, 林 研, 中新井田悠太 :
2024 JSCRS Clinical Survey 結果報告.
第39回JSCRS学術総会 (福岡) 6月, 2024.
76. 長谷川優実, 岡本史樹, 平岡玲亜, 大鹿哲郎 :
3種類の眼内レンズにおける距離別低コントラスト視力.
第39回JSCRS学術総会 (福岡) 6月, 2024.
77. Oshika T:
Optimizing surgical outcomes of toric intraocular lenses: Practical tips.
2024 Taiwan Society of Cataract and Refractive Surgeons (Invited Lecture) (Taipei, Taiwan) June,
2024.
78. Oshika T:
To remove or not? Navigating challenges in cataract surgery.
2024 Taiwan Society of Cataract and Refractive Surgeons (Invited Lecture) (Taipei, Taiwan) June,
2024.

79. Oshika T:
Introducing the new trifocal IOLs: Vivinex Gemetric and Gemetric Plus.
2024 Taiwan Society of Cataract and Refractive Surgeons (Invited Lecture) (Taipei, Taiwan) June, 2024.
80. 中野伸一郎：
Clareon の術後安定性。
Clareon® Platform 座談会（東京）7月, 2024.
81. 禰津直弘, 中川 迅, 服部貴明, 熊倉重人, 坪田欣也, 上野勇太, 大鹿哲郎, 後藤 浩：
AI を用いたアカントアメーバ角膜炎診断読影の偽陰性例の解析。
第 60 回日本眼感染症学会, 第 57 回日本眼炎症学会, 第 7 回日本眼科アレルギー学会
（札幌）7月, 2024.
82. 長谷川優実：
塗抹標本検査。
第 60 回日本眼感染症学会, 第 57 回日本眼炎症学会, 第 7 回日本眼科アレルギー学会
（札幌）7月, 2024.
83. 平岡孝浩：
近視進行抑制への挑戦！
第 66 回日本コンタクトレンズ学会総会（特別講演）（東京）7月, 2024.
84. 平岡孝浩：
合併症と対処法。
第 66 回日本コンタクトレンズ学会総会（オルソケラトロジー講習会）（東京）7月, 2024.
85. 加治優一, 加治宏康, 大鹿哲郎：
緑内障由来バイオフィルムへのアカントアメーバ接着機序の解明。
第 66 回日本コンタクトレンズ学会総会（東京）7月, 2024.
86. 木内 岳, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：
不正乱視眼に対する強膜レンズの有効性と安全性の検討。
第 66 回日本コンタクトレンズ学会総会（東京）7月, 2024.
87. 星 崇仁：
Lacripass の手術手技・臨床使用感②。
第 12 回日本涙道・涙液学会総会（モーニングセミナー）（名古屋）7月, 2024.
88. 菊池啓太, 田崎邦治, 森 悠大, 星 崇仁, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：
緑内障点眼薬が涙道内視鏡下涙管チューブ挿入術後の涙道開存率へ与える影響の検討。
第 12 回日本涙道・涙液学会総会（名古屋）7月, 2024.
89. 田崎邦治, 菊池啓太, 森 悠大, 星 崇仁, 平岡孝浩, 大鹿哲郎：
術後処方が内視鏡下涙管チューブ挿入術後の涙道開存率へ与える影響の検討。
第 12 回日本涙道・涙液学会総会（名古屋）7月, 2024.
90. 大鹿哲郎：
白内障手術の最新事情を知ろう。
眼科臨床実践講座 202（東京）8月, 2024.
91. 高橋秀徳：
眼底画像を読影支援する医療
LMM.SIP テーマ 2：Med-LMM キックオフミーティング（東京）8月, 2024.2
92. 高橋秀徳：
長期予後を見据えた滲出型加齢黄斑変性治療および眼科 AI の最近の話題。
山梨県眼疾患フォーラム 2024（甲府）8月, 2024.

93. 大鹿哲郎, 安野嘉晃 :
OCT. Cheer up! Clinicians meet optics scientists 対談企画.
第 60 回日本眼光学学会総会 (神戸) 8 月, 2024.
94. 小林 檀, 上野勇太, 山藤大輔, 中島雅哉, 前原紘基, 子島良平, 大鹿哲郎 :
レクラクタメータ MR-6000 の角膜カラー画像に対する AI 自動分類性能の施設間比較.
第 60 回日本眼光学学会 (神戸) 8 月 2024.
95. 中川亜実, 上野勇太, 丸山 久, 綾塚祐二, 米丸直之, 大鹿哲郎 :
角膜 AI 自動分類ソフトに画像解析手法 DiDA を適用するパイロット研究.
第 60 回日本眼光学学会 (神戸) 8 月 2024.
96. 長谷川優実 :
乱視矯正で happy.
第 60 回日本眼光学学術総会 (特別企画) (神戸) 8 月, 2024.
97. 石垣晶子, 星 崇仁, 新井三樹, 川村憲司, 岡本芳史, 大鹿哲郎 :
開瞼器を開電極として用いた皮膚電極 ERG 装置によるウサギの ERG 測定.
第 43 回比較眼科学会年次大会 (大阪) 8 月, 2024.
98. 中野伸一郎 :
プレート型ハプティクス眼内レンズ使用のコツ ~レンティスコンフォートシリーズを使用
するにあたって~
レンティスコンフォートスキルトランスファー (東京) 8 月, 2024.
99. Oshika T:
Polarization-sensitive OCT in the anterior eye segment. Symposium "Advances in Ocular Imaging".
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
100. Oshika T:
A new image-sharpening algorithm to enhance visibility of ocular images. Symposium "Advances in
Ocular Imaging".
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
101. Oshika T:
IOL innovations. Cataract & Refractive Surgery Subspecialty Day - Innovation.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
102. Oshika T:
Myth and fact of IOLs in congenital cataract surgery. American-European Congress of Ophthalmic
Surgery (AECOS) Innovation Symposium.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
103. Oshika T:
Global strategies for preventing vision loss: The role of digital technology. Keynote Lecture.
International Forum II – Innovative Approaches in the Prevention of Vision Loss.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
104. Kitaguchi Y, Yoshinaga Y, Ueno Y, Maehara H, Yamaguchi T, Miyazaki D, Ryohei N, Inomata T, Kato
N, Chikama T, Ominato J, Yunoki T, Tsubota K, Oda M, Nishida K, Oshika T, Japan Anterior Segment
Artificial Intelligence Research Group:
CorneAI: validating smartphone YOLOv5 model for diagnosing anterior segment diseases -
performance and reliability.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
105. Kikuchi K, Ueno Y, Mori H, Yamanari M, Oshika T:
Birefringence of trabecular meshwork in normal and glaucomatous eyes measured by Polarization-
Sensitive OCT.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.

106. Nakajima D, Ueno Y, Hasegawa Y, Oshika T:
Application of corneal AI automated classification model to the treatment process of bacterial keratitis.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
107. Hasegawa Y, Okamoto F, Hiraoka R, Oshika T:
Comparison of low contrast visual acuity between rotationally asymmetric multifocal and monofocal intraocular lens.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
108. Suzuki H, Hasegawa Y, Oshika T:
Impact of astigmatism on visual acuity across various distances after monofocal intraocular lens implantation.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
109. Nakano S, Oshika T:
The postoperative outcomes of toric intraocular lens implantation in patients aged above 85 years.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
110. Maehara H, Ueno Y, Yamaguchi T, Kitaguchi Y, Oda M, Sekiryu K, Oshika T, Japan Anterior Segment Artificial Intelligence Research Group:
AI to support the diagnosis of anterior segment eye diseases improves diagnosis accuracy by ophthalmologists.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
111. Ueno Y, Santo D, Nakajima M, Maehara H, Ito Y, Oshika T:
Development of corneal color imaging application for autorefractometer.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
112. Kiuchi G, Hiraoka T, Arai H, Oshika T:
Comparison of corneal epithelial thickness between normal and keratoconus eyes.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
113. Okamoto Y, Hoshi S, Arai M, Gen Y, Hyon S-H, Oshika T:
Intraoperative application of biodegradable sponge sheet to prevent scar formation after trabeculectomy in rabbit eyes.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
114. Sugiura Y, Okamoto F, Murakami T, Morikawa S, Okamoto Y, Oshika T:
Foveal thickness fluctuation and quality of life in patients with branch retinal vein occlusion.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
115. Kobayashi M, Sugiura Y, Okamoto F, Murakami T, Morikawa S, Okamoto Y, Oshika T:
Foveal thickness fluctuation and metamorphopsia in patients with branch retinal vein occlusion.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
116. Morikawa S, Sugiura Y, Murakami T, Okamoto F, Oshika T:
Changes in vision-related quality of life following anti-VEGF therapy for diabetic macular edema.
39th World Ophthalmology Congress (WOC) (Vancouver, Canada) August, 2024.
117. 長谷川優実：
より高い術後満足度を目指して 眼内レンズと術後屈折の選択。
第 38 回千葉県眼科手術懇話会（千葉）9 月, 2024.
118. 中野伸一郎：
トーリック眼内レンズ 私の術前・術中・術後の工夫～アバンシィプリロード 1P トーリックの使用経験も踏まえて～
アバンシィ WEB カンファレンス 9 月, 2024.
119. 平岡孝浩：
本邦の学童近視の実態と近視抑制治療の最先端。
2024 年度 第 1 回つくば市医師会学校医研修会（つくば）9 月, 2024.

120. 杉浦好美：
糖尿病黄斑浮腫治療 Up To Date.
IBARAKI DME・RVO セミナー2024（つくば）9月, 2024.
121. Nakano S, Oshika T:
Postoperative outcomes of toric intraocular lens implantation in patients aged over 85 years.
42nd Congress of the ESCRS (Barcelona, Spain) September, 2024. 9/6-10.
122. Morikawa S, Sugiura Y, Murakami T, Okamoto F, Oshika T:
Stereopsis before and after intravitreal Afibercept for diabetic macular edema.
24th EURETINA Congress (Barcelona, Spain) September, 2024.
123. Hiraoka T, Ninomiya S, Ito T, Kanegae M: Comparison of Axial Elongation Rates Before, During, and After Orthokeratology.
60th International Myopia Conference (Sanya, China) September, 2024.
124. Hiraoka T, Tamura M, Takahashi Y, Yoshino K, Kiuchi G, Sugiura Y, Kuji R, Mino T, Moriguchi Y, Akiba M, Oshika T:
Quantitative analysis of posterior eye curvature using widefield OCT and its relationship with axial length in school-aged children.
60th International Myopia Conference (Sanya, China) September, 2024.
125. 大鹿哲郎：
その白内障の診断，正しいですか？
日本大学眼科症例検討会（特別講演）（東京）10月, 2024.
126. 大鹿哲郎：
その白内障の診断，正しいですか？
第18回北陸オフサルミックフォーラム（特別講演）（福井）10月, 2024.
127. 森田由香：
大人が守ろう，子どもの目。
茨城県市民公開講座（土浦）10月, 2024.
128. 杉浦好美：
硝子体手術トラブル -シリコンオイル編-。
Young Surgeons Meeting 神奈川 2024（横浜）10月, 2024.
129. 杉浦好美：
糖尿病網膜症の診断と治療。
第39回日本糖尿病合併症学会（教育講演）（つくば）10月, 2024.
130. 田中 駿，早川幹人，小野諒平，平田浩二，田崎邦治，大鹿哲郎，松丸祐司：
網膜中心動脈閉塞症（CRAO）に対し静注血栓溶解療法（IV-tPA）を行い視機能回復を得た一例。
第52回日本救急医学会総会・学術集会（仙台）10月, 2024.
131. 杉浦好美：
視機能から考える黄斑上膜の手術適応。
瀬戸内眼科コロシウム 2024（広島）10月, 2024.
132. 星 崇仁：
Dacryoendoscopy IV DcrioLab.
IV DcrioLab（IV DcrioLab）（ブラジル）10月, 2024.
133. Murakami T, Chen J, Kalaw F, Nudleman E, Scott N:
Quantitative Assessment of Vascular Tortuosity in Sickle Cell Retinopathy.
American Academy of Ophthalmology (Chicago, USA) October, 2024.
134. 大鹿哲郎：
続：小児白内障手術の神話と真実。
北海道 IOL 勉強会（特別講演）（札幌）11月, 2024.

135. 中野伸一郎：
本音で語るトーリック眼内レンズ.
N-CATS 研究会（京都）11 月, 2024.
136. 長谷川優実：
高度な角膜血管侵入を伴う難治性結膜炎の 1 例.
第 14 回 OMIC（京都）11 月, 2024.
137. 平岡孝浩：
近視進行抑制治療の現在と未来.
第 9 回近視研究会学術集会（アフタヌーンセミナー）（東京）11 月, 2024.
138. 平岡孝浩
「老視診療アップデート」コンタクトレンズ.
第 78 回日本臨床眼科学会総会（インストラクションコース）（京都）11 月, 2024.
139. 平岡孝浩：
合併症と対処法.
第 78 回日本臨床眼科学会総会（オルソケラトロジー講習会）（京都）11 月, 2024.
140. 平岡孝浩：
リスクを最小限に減らし、ベネフィットを最大限に得るための OK 最新情報.
第 78 回日本臨床眼科学会総会（ランチョンセミナー）（京都）11 月, 2024.
141. 中野伸一郎：
NIDEK NP-T の実力！
第 78 回日本臨床眼科学会（ランチョンセミナー）（京都）11 月, 2024.
142. 長谷川優実：
Vivonex Impress をチョイス.
第 78 回日本臨床眼科学会（ランチョンセミナー）（京都）11 月, 2024.
143. 杉浦好美：
黄斑上膜のコントラスト感度・変視と硝子体手術.
第 78 回日本臨床眼科学会（シンポジウム）（京都）11 月, 2024.
144. 福田理英子, 森田由香, 大鹿哲郎：
抗 MuSK 抗体陽性であった小児重症筋無力症の 1 例.
第 78 回日本臨床眼科学会（京都）11 月, 2024.
145. 坪田欣也, 古田 実, 前原紘基, 大湊 絢, 柚木達也, 上野勇太, 後藤 浩, 朱 欣,
翁 偉浩, 大鹿哲郎：
人工知能を用いた前眼部腫瘍診断補助システムの開発.
第 78 回日本臨床眼科学会（京都）11 月, 2024.
146. 滝波俊平, 上野勇太, 森 悠大, 森田由香, 清田 純, 大鹿哲郎：
自己教師学習あり Vision Transformer による前眼部 OCT 画像を用いた白内障分類.
第 78 回日本臨床眼科学会（京都）11 月, 2024.
147. 中野伸一郎, 大鹿哲郎：
85 歳以上の患者におけるトーリック眼内レンズ挿入術の術後成績.
第 78 回日本臨床眼科学会（京都）11 月, 2024.
148. 大鹿哲郎, 仁科幸子, 浦 佐和子, 宮城麻衣, 野村耕治, 森 隆史, 松木奈央子, 遠藤高
生, 黒坂大次郎, 根岸一乃, 吉田茂生：
小児白内障手術後の長期屈折変化.
第 78 回日本臨床眼科学会（京都）11 月, 2024.

149. 富岡瑞樹, 杉浦好美, 小林 檀, 森川翔平, 村上智哉, 大鹿哲郎 :
網膜疾患における両眼変視の検討.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
150. 杉浦好美, 小林 檀, 富岡瑞樹, 森川翔平, 村上智哉, 大鹿哲郎 :
黄斑前膜患者における両眼変視の検討.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
151. 上野勇太, 山藤大輔, 中島雅哉, 伊藤賀一, 大鹿哲郎 :
レフラクトメーターMR-6000 角膜撮影ソフトを用いた疾患眼検出精度の検証.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
152. 前原紘基, 上野勇太, 山口剛史, 北口善之, 宮崎 大, 子島良平, 猪俣武範, 加藤直子, 近間泰一郎, 大湊 絢, 柚木達也, 坪田欣也, 小田昌宏, 錫谷 学, 石龍鉄樹, 大鹿哲郎 :
虚偽の診断結果を示す AI 支援による, 眼科医の正答率変化.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
153. 北口善之, 上野勇太, 前原紘基, 山口剛史, 宮崎 大, 子島良平, 猪俣武範, 加藤直子, 近間泰一郎, 大湊 絢, 柚木達也, 坪田欣也, 小田昌宏, 西田幸二, 大鹿哲郎 :
前眼部疾患診断支援 AI における GradCAM を用いた注目点の可視化.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
154. 平岡孝浩, 田村将人, 森口祥聖, 高橋洋介, 吉野健一, 久慈 陸, 三野聡大, 秋葉正博, 木内 岳, 杉浦好美, 大鹿哲郎 :
広角 OCT を用いた眼底曲率分布解析と耳側曲率極大点の検出.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
155. 森川翔平, 村上智哉, 杉浦好美, 岡本芳史, 岡本史樹, 大鹿哲郎 :
網膜静脈分枝閉塞症に対する抗 VEGF 薬治療が視覚関連 QOL の運転項目に及ぼす影響.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
156. 田崎邦治, 菊池啓太, 星 崇仁, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :
涙道内視鏡下涙管チューブ挿入術後の再発リスク因子.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
157. 埜村裕也, 伊丹絵美, 藤田善史, 大鹿哲郎 :
TECNIS Eyhance を使用したモノビジョン法の臨床成績.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
158. 長谷川優実, 岡本史樹, 平岡玲亜, 大鹿哲郎 :
Vivinex Impress の距離別低コントラスト視力.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
159. 山本政寿, 森田由香, 大鹿哲郎 :
横山法により良好な両眼視機能が得られた内斜視一片眼手術例と両眼手術例の比較.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
160. 大賀浩斎, 上野勇太, 小田昌宏, 大鹿哲郎 :
角膜 AI 自動分類ソフトに前眼部写真を回転させて入力した際の精度検証.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
161. 木内 岳, 平岡孝浩, 富岡瑞樹, 平岡玲亜, 大鹿哲郎 :
円錐角膜における角膜離心率.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.

162. 山本敏哉, 平岡孝浩, 大鹿哲郎 :
低加入度数分節眼内レンズ挿入眼における高次収差が焦点深度に及ぼす影響.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
163. 小林 檀, 長谷川優実, 杉浦好美, 大鹿哲郎 :
急性網膜壊死に対するシリコンオイル注入術後に視交叉迷入を認めた一例.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
164. 平岡玲亜, 田崎邦治, 中川亜実, 村上智哉, 早川幹人, 田中 駿, 松丸祐司, 大鹿哲郎 :
急性期網膜中心動脈閉塞症に対して t-PA 静注療法を施行した 2 例.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
165. 鈴木 啓, 長谷川優実, 杉浦好美, 大鹿哲郎 :
裂孔原性網膜剥離を合併したぶどう膜炎に後日トキシカラ抗体陽性が判明した 1 例.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
166. 伊藤賀一, 古山 誠, 上野勇太, 大原睦子, 大鹿哲郎 :
OCT 画像から視野推測する 3 次元 AI モデルで推測精度不良例の検討: 頭蓋内疾患の検出.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
167. 菊池啓太, 上野勇太, 山成正宏, 大鹿哲郎 :
偏光感受型光干渉断層計を用いた複屈折光学軸解析を前眼部組織に適用する試み.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
168. 中嶋大輔, 上野勇太, 丸山 久, 綾塚祐二, 米丸直之, 長谷川優実, 大鹿哲郎 :
画像解析手法 DiDA を細菌性角膜炎の治療過程に対する AI 解析に適用する試み.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
169. 大鹿哲郎, 永田万由美, 野本浩之, 秋元正行 :
難症例・合併症例の白内障手術.
第 78 回日本臨床眼科学会 (インストラクションコース) (京都) 11 月, 2024.
170. 佐々木 洋, 大鹿哲郎, 根岸一乃, 三好輝行, 野口三太郎 :
多焦点 IOL アップデート 2024.
第 78 回日本臨床眼科学会 (インストラクションコース) (京都) 11 月, 2024.
171. 小島隆司, 鳥居秀成, 柴 琢也, 森 洋斉, 後藤 聡, 長谷川優実, 神谷和孝,
永田万由美, 松島博之, 宮田和典 :
多施設における有水晶体眼内レンズ術後眼に対する白内障手術成績の検討.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
172. 森 洋斉, 石原誠人, 鳥居秀成, 後藤 聡, 長谷川優実, 神谷和孝, 柴琢也, 小島隆司,
永田万由美, 松島博之, 宮田和典
多施設共同研究による成熟白内障に対する白内障手術の検討.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
173. 橋本青葉, 鳥居秀成, 四倉絵里沙, 森 洋斉, 後藤聡, 長谷川優実, 神谷和孝,
柴 琢也, 小島隆司, 永田万由美, 松島博之, 宮田和典, 根岸一乃 :
多施設における白内障を有する眼の浅前房眼と非浅前房眼の比較.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.
174. 柴 琢也, 森 洋斉, 鳥居秀成, 長谷川優実, 小島隆司, 松島博之, 永田万由美,
後藤 聡, 神谷和孝, 宮田和典 :
多施設共同研究による非回折型焦点深度拡張眼内レンズ挿入眼の視機能の検討.
第 78 回日本臨床眼科学会 (京都) 11 月, 2024.

175. 長谷部 聡, 森田由香, 根岸貴志, 後関利明, 宮田 学 :
斜視手術のグローバルスタンダードを考える. その6
第78回日本臨床眼科学会 (京都) 11月, 2024.
176. 大賀浩斉, 上野勇太, 小田昌宏, 大鹿哲郎 :
前眼部写真を回転させてAI診断支援ソフトに入力した際の精度変化.
第46回茨城医学会眼科分科会, 令和6年度茨城県眼科医会集談会 (水戸) 11月, 2024.
177. 和泉玄織, 岡本芳史, 大房理恵, 大鹿哲郎 :
アフリベルセプト8mgと2mgの硝子体注射後の早期眼圧変化の比較.
第46回茨城医学会眼科分科会, 令和6年度茨城県眼科医会集談会 (水戸) 11月, 2024.
178. 岡本芳史, 和泉玄織, 大房理恵, 大鹿哲郎 :
黄斑下出血に対するt-PA併用気体注入術.
第46回茨城医学会眼科分科会, 令和6年度茨城県眼科医会集談会 (水戸) 11月, 2024.
179. Hiraoka T:
The latest incidence of microbial keratitis associated with overnight orthokeratology in Japan, and comparison with previous studies worldwide.
Menicon Asia-Oceania JAPAN Tour 2024 (Nagoya, Aichi) November, 2024.
180. Oshika T:
Advancing SDGs in Japanese Ophthalmology.
TOA-JOS Joint Symposium. 58th National Congress of the Turkish Ophthalmological Association. (Antalya, Turkey) November, 2024.
181. 平岡孝浩 :
いよいよ本格的に始まります! 近視抑制治療.
第6回ちかさと霧島PBMセミナー (WEB配信) 12月, 2024.
182. 平岡孝浩 :
学童近視の実態と近視抑制治療の最前線.
Saitama Ophthalmology Update Seminar (SOUS) (WEB配信) 12月, 2024.
183. 北口善之, 上野勇太, 前原紘基, 山口剛史, 宮崎 大, 子島良平, 猪俣武範, 加藤直子, 近間泰一郎, 大湊 約, 柚木達也, 坪田欣也, 小田昌弘, 西田幸二, 大鹿哲郎 :
CorneAIの判定精度における角膜外情報の影響: CutMix法を用いた検討.
第5回日本眼科AI学会総会 (福岡) 12月, 2024.
184. 小田昌宏, 秋山雅人, 柏木賢治, 三宅正裕, 森 健策, 大鹿哲郎 :
眼底画像からのメタボリックシンドローム関連パラメータ推定 AIの開発.
第5回日本眼科AI学会総会 (福岡) 12月, 2024.
185. 滝波俊平, 森川翔平, 高橋秀徳, 大鹿哲郎 :
自己教師学習あり Vision Transformer を用いて網膜OCT画像から糖尿病黄斑浮腫を診断するAI開発.
第5回日本眼科AI学会総会 (福岡) 12月, 2024.
186. 上野勇太, 滝波俊平, 伊藤賀一, 大鹿哲郎 :
前眼部写真から落症候群を検出するAI開発のためのパイロット研究.
第5回日本眼科AI学会総会 (福岡) 12月, 2024.
187. 杉浦好美 :
RVO患者のQOV向上を目指したこれからの治療戦略~バビースモへの期待~.
第63回日本網膜硝子体学会総会 (共催セミナー) (大阪) 12月, 2024.
188. 和泉玄織, 岡本芳史, 大房理恵, 大鹿哲郎 :
アフリベルセプト8mg硝子体注射後の早期眼圧変化.
第63回日本網膜硝子体学会総会 (大阪) 12月, 2024.